

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月14日

計画の名称	魚津駅・新魚津駅周辺における安心・安全かつ快適な都市基盤整備												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	魚津市												
計画の目標	北陸新幹線の平成27年3月の金沢までの開業により、人々の移動手段、流動の劇的な変化が予想される。最寄りの新幹線駅である黒部宇奈月温泉駅に接続する富山地方鉄道線と、第三セクター「あいの風とやま鉄道線」との交通結節点である新魚津駅・魚津駅と、その周辺施設及び関連施設の整備により、地域住民及び来訪者の利便性の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,344	A	5,334	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.18	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・鉄道利用者の利便性が向上し、駅利用者数が増加する。 市内富山地方鉄道駅及びあいの風とやま鉄道魚津駅の年間利用者数を調査する。	2400000人/年	2412000人/年	2424000人/年
2	・二次交通である市民バスの利用者数が増加する。 魚津市民バスの年間利用者数を調査する。	170000人/年	170850人/年	171700人/年
3	・市民意識調査における道路交通環境の満足度の向上を図る。 市民意識調査の結果を用い、道路が整備され、安全で快適・便利になったと感じている市民の割合(満足度指標)	48%	50%	52%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	魚津市	直接	魚津市	S街路	改築	(都)魚津駅本新線 釈迦堂	駅前広場整備 約0.5ha	魚津市						3,358		未策定	
	A01-002	街路	一般	魚津市	直接	魚津市	S街路	改築	(都)魚津駅電鉄魚津駅線 緑町	延伸整備 L=約260m	魚津市						895		未策定	
	A01-003	街路	一般	魚津市	直接	魚津市	S街路	改築	(都)カーバイド上村木線 本新町	拡幅整備 L=約320m	魚津市						895		未策定	
	A01-004	街路	一般	魚津市	直接	魚津市	S街路	改築	(都)北鬼江吉島線 北鬼江一丁目	交差点改良 L=約100m	魚津市						100		未策定	
	A01-005	道路	雪寒	魚津市	直接	魚津市	市町村道	雪寒	(他)杉野新金屋線他 新金屋二丁目	消雪施設 L=約1.1km	魚津市						86		未策定	
												小計						5,334		
												合計						5,334		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	公共交通	一般	魚津市	間接	富山地方鉄道	S街路	改築	バリアフリー対応駅舎整備	エレベータの設置 2ヶ所	魚津市						8		未策定
		(都) 魚津駅本新線(A-1)の整備と一体的に、高齢者・障害者等が利用しやすいよう新駅舎にエレベータを設置し、駅舎のバリアフリー化による鉄道利用の活性化を図る。																	
	C01-002	施設整備	一般	魚津市	直接	魚津市	S街路	改築	観光地案内看板整備	駅前広場ほか1ヶ所に設置	魚津市						2		未策定
		(都) 魚津駅本新線(A-1)等の整備と一体的に、市民バスルートも表示した観光地案内看板を整備し、市民バス利用増はもとより、観光客の増加による地域・市街地等の活性化を図る。																	
											小計						10		
											合計						10		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
魚津市	令和3年12月
	公表の方法
	魚津市HPにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和元年度に（他）杉野新金屋線他、令和2年度に（都）北鬼江吉島線が完了したことから、実績値への効果発現までには至らなかった。また、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道利用者及びバス利用者が激減したことから、事業効果の発現がみられなかった大きな要因である。しかし、コロナ禍前の鉄道利用者及びバス利用者数は、当初現況値とほぼ横ばい、道路交通環境の満足度は目標値を上回っていたことから、一定程度の効果はあったと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	バス路線での消雪施設を更新したことから、冬季の運行状況の改善につながった。また、令和2年度に完了した（都）北鬼江吉島線で実施した渋滞調査では、事業着手前に最大100mあった渋滞長が完了後には観測されなくなったことから、渋滞解消による中心市街地へのアクセス利便性向上、ひいてはまちの賑わいに寄与するなど効果がみられた。
特記事項（今後の方針等）	
次期計画では、引き続き事業を実施することにより、地域住民及び来訪者の利便性の向上を図る	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	鉄道利用者数	
	最終目標値	2424000人/年
	最終実績値	1768790人/年
2	市民バス利用者数	
	最終目標値	171700人/年
	最終実績値	145610人/年
3	道路交通環境の満足度	
	最終目標値	52%
	最終実績値	44%

令和2年度までに一部事業が完了したが、令和2年度の実績値への効果発現までには至らなかった。また、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の激減が大きな要因である。（実績値）H28_2,325千人 H29_2,342千人 H30_2,323千人 R1_2,195千人 R2_1,768千人

令和2年度までに一部事業が完了したが、令和2年度の実績値への効果発現までには至らなかった。また、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の激減が大きな要因である。（実績値）H28_170千人 H29_166千人 H30_166千人 R1_170千人 R2_145千人

コロナ禍前までの市民意識調査では、満足度が53%となっていることから、一定程度の事業効果はあったと考えている。しかし、駅周辺整備事業が未完成の影響から、目標値が達成できなかった一つの要因と考えている。（実績値）H28_46% H29_41% H30_53% R1_45% R2_44%

参考図面（社会資本整備総合交付金）

